

第54回

人権交流京都市研究集会

2023年2月25日【土】 午前9時半～

全体会場 ロームシアター京都

全体会

午前9時半～

ロームシアター京都(サウスホール)

分科会

午後1時30分～

(サウスホール／国際交流会館)

参加費 2,500円

※事前にお弁当を申し込んで下さい (800円)

*分科会

①部落と人権 ②多文化共生と教育
③フィールドワーク

◆全体集会 記念講演

前川 喜平 さん (元文部科学事務次官)

「教育保障を全ての人に平等に
～自主夜間学校の取り組みから」

夜間中学ドキュメンタリー

「こんばんはⅡ」 上映 (37分)

監督: 森 康行
ナレーター: 大竹しのぶ



教育を奪われたこと。そのために限られた職業にしかつづけ、貧乏な生活を強いられ、子どもの教育もままならない。かつて、長い間、部落差別の実態とは、常に教育問題と強く結びついてきました。学ぶことは生きることであり、全ての人に学ぶ権利はあるはずです。現在は、海外からの労働者も多く受け入れ、共に暮らすことが当たり前の社会となり、言葉や教育を獲得することは多様な人たちによって切実に求められています。その理念のもと2016年「教育機会確保法」が成立し、都道府県・政令市に1校以上の夜間中学設置がめざされています。しかし達成への道のりはまだまだ遠く、一方「自主夜間学校」の設立を、市民ボランティアで進める取り組みがあり、京都市内でも始動しています。本集会では、そのような人々の思いを誠実に受け止め、教育制度の充実に向き合ってきた、元文部科学省事務次官、前川喜平さんに夜間学校の意義と必要性についてお話いただき、教育を通じてつくり上げていくべきこの国の未来について、みなさんと共に考えていきたいと思います。

主催 第54回人権交流京都市研究集会実行委員会

京都市小学校同和教育研究会 京都市立中学校教育研究会人権教育部会
京都市交通局部落問題研究 京都府庁部落問題研究会 京都市職員部落問題研究会
京都・東九条CANフォーラム 部落解放同盟京都市協議会

後援

京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会
京都市PTA連絡協議会 京都人権啓発企業連絡会 部落解放同盟京都府連合会

第54回人権交流京都市研究集会

日 時 2023年2月25日【土】

全体会＝午前9時半～正午(受付開始 午前9時)

分科会＝午後1時30分～4時30分

場 所 全体会＝ロームシアター京都 (サウスホール)

分科会＝ロームシアター京都 (サウスホール)

国際交流会館 (研修室)

フィールドワーク (部落解放同盟東三条支部)

参加費 2,500 円 ※弁当は2月9日までに事務局にお申し込み下さい (800円)

◇参加を希望される方は、各団体または事務局にお申し込み下さい。
当日会場に直接お越しいただいても参加できます。



● 分科会案内 ●

第1 分科会 部落と人権

会 場

ロームシアター京都(サウスホール)

～残りつづける差別を断ち切るためには、どうすればよいか?～

前半は、崇仁発信実行委員会の代表者で、人権を身近に考えられる啓発活動を実践されている藤尾まさよさんから、ご講演をいただきます。活動に至った経緯やエピソード、歩んできた道のりなど、話題を提供してもらいます。分科会の後半は、市内の小・中学校の教員が加わり、パネルディスカッション形式で展開します。それぞれの活動や実践紹介などを交えながら議論します。21世紀は人権の世紀とよばれ、多文化共生社会の実現が求められながら、残りつづける差別を断ち切るためにどうすればいいのか。ご参加いただいた方々と共に考え、意見を交わしたいと思います。



第2 分科会 多文化共生と教育

会 場

国際交流会館(研修室)

～学びの保障について考える～

夜間中学に通う人たちの理由は様々です。学齢期に十分な学習保障がされなかった人、学齢を超過して渡日した外国人、中学校で不登校となり結果として十分に教育が受けられずに卒業した人など。いずれも何らかの事情で学齢期に義務教育の機会を十分に得られなかった人たちです。このような背景を持った人の「学びたい」という思いに、学びの場と機会を保障する大切な役割を果たしているのが夜間中学です。京都市には現在公立の夜間中学である洛友中学校夜間部(二部学級)があり、夜の時間帯に授業が行われています。また、在日コリアンやニューカマーを対象として学びの場があり、昨年10月、市民ボランティアが組織・運営する自主夜間学校が京都市に誕生しました。これらの取り組みから、多様な立場の人たちへの学びの保障について議論を深めます。

第3 分科会 フィールドワーク

地 域

部落解放同盟東三条支部

～「京あまべの歴史」に学ぶ～

分科会タイトルは、京都の部落史に造詣が深い辻ミチ子先生に講演していただいた題名です。講演録を学習資料として地域で活用しています。自分たちが生まれ育ったまちの歴史を勉強してわかったのは、部落の人は特別な存在ではないということでした。平安時代末期に部落が形成され、紆余曲折をへて今日まで一千年の時間の経過の中、伝説や言い伝えにより特別な存在として扱われてきたため「人間外の人間」として差別されてきたのです。部落の歴史を知るとは部落問題を理解するうえでとても大切なことだと思います。地域と一緒に歩きながら、じかに歴史に触れてもらえたら幸いです。

第54回人権交流京都市研究集會事務局

〒603-8151 京都市北区小山下総町5-1 京都府部落解放センター内
TEL (075)415-1041 FAX (075)432-4485 E-mail : info@kyoken.jp
<http://www.kyoken.jp/index.htm>